

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	観光課長 森 啓匡	
市民-10	日本遺産事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	文化財課・生涯学習課・文化課・都市景観課など
総合計画上の位置付け	分野	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用するため。
効果	鎌倉の魅力を国内外に発信することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・「日本遺産の地域活性化計画」を再検証し、より効果的・より具体的な取組みとしてブラッシュアップし、事業の推進を図った。 ・取組についての庁内検討委員会を発足させ、日本遺産の構成文化財の魅力を伝える方策を検討した。 ・「日本遺産フェスティバルin関門」に参加するなどにより、日本遺産の構成文化財の魅力を伝える情報発信に取組んだ。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	日本遺産事業	日本遺産いざ鎌倉協議会負担金の支出等	観光客の満足度(%)	86.5 / 89.0		89.5	97.2%
02			日本遺産の認知度(%)	489 / 537		11,680	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	489 / 537		11,680	
		事業費の合計(千円)		489 / 537		11,680	
		人件費(千円)			3,798	12,469	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	0.5	0.5	1.6		
会計年度任用職員	0	0	0	0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	日本遺産事業	あらたな鎌倉観光の魅力を発信する事業であることから、観光客の満足度や日本遺産「いざ、鎌倉」の認知度を指標とする。指標については新設である。	「歴史的遺産と共生するまちづくり」について、一定程度の貢献をしているものであるが、事業の見直しを行い、貢献度を高めていきたい。	関連部局、関連施設との連携を図りながら継続的な情報発信を行うとともに、日本遺産ストーリーを活用した事業を検討する必要がある。
02	0			
03	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 日本遺産いざ鎌倉協議会(鎌倉市観光協会、鎌倉商工会議所、鎌倉風致保存会)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
日本遺産の構成文化財の魅力を伝える情報発信に取り組むとともに、観光視点での積極的な活用を検討していく。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。また、日本遺産を活用した活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5				
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%				

指標(単位)	日本遺産「いざ、鎌倉」の認知度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
日本遺産を活用した活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。指標については、新設とした。	目標値	—	—	20.0	20.0	22.0	24.0	
	実績値	—	—	9.3				
	達成率	—	—	46.4%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	日本遺産認定自治体						
団体名	鎌倉市	小田原市	横須賀市	伊勢原市	箱根町		
他市実績	○	○	○	○	○		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内認定自治体のそれぞれの個性を活かしつつ、連携の可能性を模索していく必要がある。
----------------------	---